



川島町の取組状況について

①【高台整備（避難場所等に活用）】高台避難所の整備促進

整備予定区域の地権者を対象とした説明会を実施した。現在、整備に関する基本方針を策定するため、高台避難所整備計画の策定にかかる委託業務を進めている。

【高台避難場所のイメージ】



※出展：国道交通省利根川上流河川事務所「加須市北川辺地区水防拠点」

②【他機関・民間施設を含めた避難場所の確保】町内外の避難場所を拡大

新たに「国営武蔵丘陵森林公園」や「鶴ヶ島グリーンパーク」を一時避難場所として使用できるよう協定を締結し、14か所、約6,000台の駐車スペースを確保した。

また、逃げ遅れた方が緊急的に避難できるよう、町内の「プロロジスパーク川島」と協定を締結した。



③【他機関・民間施設を含めた避難場所の確保】トイレカーの提供協力に関する協定締結

水害時、一時的に町外の避難場所において、トイレが不足する事から、(株)川口自動車工業と自走式仮設水洗トイレ「トイレカー」の提供協力に関する協定を締結した。



④【防災行政無線の戸別受信機整備】戸別受信機による情報配信を開始

従来の屋外スピーカーでは、雨風により聞こえづらくなり、避難指示などの重要な避難情報が周知できない可能性があるため、室内で聞ける戸別受信機を主体とした情報発信を4月から開始している。



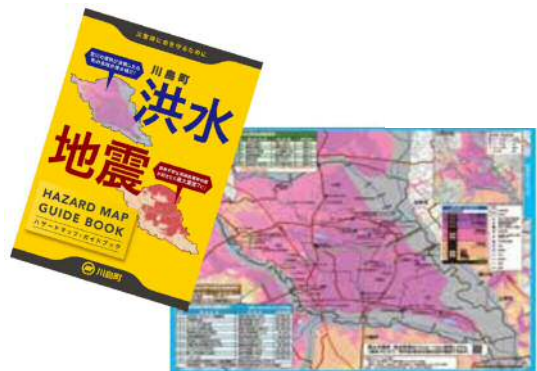
川島町の取組状況について



⑤【洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知】

ハザードマップ及びマイ・タイムライン地域説明会の実施

水害時の逃げ遅れゼロ対策として、ハザードマップ及びマイ・タイムラインの重要性を周知するため、町内の各地域に出向き町民説明会を実施した。また、町ホームページで説明動画を配信している。



⑦【広域避難計画の策定】

地域防災計画の改訂

災害対策基本法の一部改正や埼玉県地域防災計画との整合性を図り、実行性や地域の実情に合わせた計画とするため、改訂を行った。特に水害について、東日本台風などの状況をふまえ、体制の変更などを行った。



⑧【防災メール等を活用した情報発信の強化】

防災情報の多言語化の実施

防災情報を携帯電話等へメールで配信をしているが、外国籍の方にもわかるよう、英語、中国語、韓国語、ベトナム語での配信を開始した。



⑥【洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知】

まるとまちごとハザードマップ

町内各小中学校等や防災無線の支柱38か所に浸水想定看板を設置した。これにより、地域町民の防災意識の向上や、避難行動の促進を図った。今年度は、町内の商業施設やコンビニ等の民間施設に設置を予定している。



⑨【水防活動資材の確保】

水害備蓄物資等の拡充

水害時に救助活動を円滑にするため、ウレタンボートなどの救助活動用品や、プライベートテント等の感染症予防対策及び避難所運営における多様化に配慮した物品を導入した。

